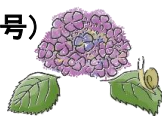


AIと「こころ」



発行日：2026年6月1日

発行者：昭和医科大学学生課 TEL 03-3784-8024

学生相談室 TEL 03-3784-8285

皆さんはAIを活用していますか？ChatGPT、生成AIなど、私の子供の頃にはアニメか星新一の小説の世界、はるか未来の話として語られていたことが現実となり、驚いています。先日、テレビで「生成AIを利用すれば、短時間低コストで映画が作れる」と話している方がいました。一方、俳優の二宮和也さんがドラマや映画で台本通りに話すことはなく、殆どアドリブだと、あるバラエティ番組で話していました。

日々忙しく複雑化する仕事や課題、社会を考えると、できることは機械に任せて、少しでも心身の休息を取り、他のことに時間を使うことは自然な流れでしょう。私も食洗器を使いますし、分からないことがあればGoogle先生に尋ねます(解決するとは限りませんが、Google先生に聞いても分からなかったから、仕方がないから直接調べたり問い合わせたりする覚悟は決まります)。これからAIの性能はより進化すると思いますし、下地や単純作業は任せるなどの工夫も生まれることでしょう。では、すべてがAIにとって変わられる日は来るのでしょうか？

不思議に思うのは、AIで作られた文章や作品は完璧なはずなのに、どこか違和感があるのです。「営業で完璧なプレゼンテーションをしたのに、映像資料のクオリティが低く商機を逃した。AIを活用することで、格好いい映像資料が作れて成績に結び付く」という人気俳優が演じるCMがあります。私のCMへの感想は「AIが作った資料は恰好いいけれど言いたいことが分からない」で、ダサさの象徴として人が作ったスライドの方が、的を射っていたことでした。



便利なもの、洗練されたものと、人の心を打つことは簡単につながらないようです。私たちの生活でも、借りものの言葉より、つつかえながら発した一言や沈黙で気持ちが伝わることはないでしょうか。

ライブや舞台、昔からの神話(ギリシャ神話やグリム童話等も面白いものです)や物語はいまなお人々に愛されます。コロナ禍が過ぎてから対面のコミュニティは復活しました。コンサートでのハプニングは聴衆も一体になり盛り上がります。AIと生身の人間が作り出すもの、それぞれに良さがあり、上手につきあっていければと思います。が、「生々しさ」、「その人らしさ」、「人の息遣いや気配」など目に見えないけれど何か伝わるものは人の心を引き付けるのだと思います。カウンセリングでもうまく話すことに不安を感じる方がいますが、言葉以外にも伝わること、分かち合えることがあることをふと思い出しました。(大河原)

(本学ホームページの「学生生活支援」より、予約状況を見ることもできます)

6月の予定

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	